



2024年  
1月31日～2月5日

2023年度シリア人若手研究者  
保存修復研修

筑波大学



文化庁  
Agency for Cultural Affairs,  
Government of Japan



筑波大学  
University of Tsukuba

RESEARCH CENTER FOR  
WEST ASIAN CIVILIZATION

研修プログラム

<i>Date</i>	<i>Schedule</i>	<i>Program</i>	<i>内容、目的等</i>	<i>Lecturer</i>
Day 1 31/1/2024 (Wed.)	09:00-09:30	研修概要の説明		○谷口
	09:30-10:00 10:00-10:30	シリア人研修生プレゼンテーション	シリアの博物館及び研修生の活動の紹介。	シリア人研修生 2名
	10:30-11:00	<b>1. 遺物の記録</b> 講義 1：遺物の劣化の種類	・劣化の種類と発生のメカニズムを知ることで、遺物の状態を正確に判断することができる。	○谷口
	11:00-11:30	講義 2：遺物の状態調査方法	・遺物の研究目的だけでなく、博物館の中長期的な保存計画を立案するためにも、遺物の正確な状態を記録して情報を集成する大切さを学ぶ。	○増田
	11:30-12:00	実習 1：遺物の状態調査 ・実物の遺物（土器、鉄器）を対象にして実施する。 ①. 対象遺物の撮影	・遺物の全体と劣化部分を撮影する。	○西村 谷口 増田
	13:00-17:00	②. ビジュアルグロッサリーの作成  ③. 状態調査 ・据え置き型／携帯型マイクロスコープを使用して観察する。	・劣化部分の写真を撮影し解説を作成することで、理解が深まる。  ・遺物の状態を詳細に観察し、保存状態を言葉で記録したり、劣化部分を正確に地図化する。	○谷口 増田 西村  ○西村 谷口 増田
Day 2 1/2/2024 (Thu.)	09:00-11:00	④. 研修生発表	・作成した状態調査書を元に、調査した遺物の劣化状態、劣化の原因、修復の必要性の有無、保管・展示・移動の際の注意等を発表する。 ・発表後、不足部分や改善すべき点があれば、講師が指摘・説明する。	○谷口 西村 増田
	11:00-11:30	<b>2. 遺物の保管</b> 講義 1：収蔵のための保存資材、保存容器	・遺物を安全かつ整理して収蔵するために、適切な保存資材、容器を利用する重要性を学ぶ。	○増田
	11:30-12:00 13:00-15:30	実習 1：保存容器の作成 ・保存資材を使って保存容器を作成する。 ・作成する保存容器： 綿紐で固定する浅型トレー (時間があれば)	・シリアで導入しやすいように、接着剤を使用しない簡便な保存容器を作成する。	○増田 西村

		シェル型あるいは被せ型箱		
	15:30-16:30	実習2：遺物の梱包 ・実物の遺物（土器、鉄器、ガラス片）を対象にして実施する。	梱包資材（薄葉紙、フォーム等）を使用し、遺物の材質や形状、状態に合った安全な梱包方法を学ぶ。	○西村 増田
Day 3 2/2/2024 (Fri.)	09:00-10:00	講義2：収蔵庫の環境、計測法（紫外線、照度、温湿度）	・不適切な環境によって遺物に生じる損傷の事例を紹介し、理想的な収蔵庫の条件を提示する。各種計測機器、データロガーを用いた微小環境計測について学ぶ。	○西村 谷口 増田
	10:00-11:00	<b>3. 保存修復の事例</b> 講義1：土器の保存修復	・遺物の応急処置や修復の優先順位の設定を学ぶ。 ・安易な介入処置の危険性と、最小限の介入で遺物を安定化させることの重要性を学ぶ。	○西村
	11:00-12:00	講義2：津波被害からの復興の事例	・被災地での1次レスキューから、元の（あるいは新設の）博物館に被災文化財が戻されるまでの一連の活動を紹介する。	○増田
	13:00-17:00	見学：国立科学博物館（つくば）収蔵庫		○沓名 谷口、西村、増田
Day 4 3/2/2024 (Sat.)		都内美術館博物館見学		
Day 5 4/2/2024 (Sun.)		都内美術館博物館見学		